

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	選択必須	1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学年	1学年	担当教員	阿部/皆川	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	102単位時間	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標 TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。				7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
授業の進め方・学習方法・課題 リスニングとリーディングを交互に取り混ぜ、単語力強化のため 毎日単語チェックを行う。 また、集中力を持続させ受験できるように授業時間に時間を意識させ 問題を解くように促す。 対面授業と遠隔授業の併用実施				20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②TOEIC公開テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	10月受験対策
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	選択必須	2	英検準2級英単語1550 P14～24 リスニング30問	10月受験対策
学年	1学年	担当教員	坂上/小林/寺田	3	英検準2級過去問題集2019年第1回 解答解説	10月受験対策
科目名	English Strategy 英検準2級	時間数	102単位時間	4	英検準2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5	準2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検準2級過去問題集 英検準2級英単語1550			6	長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
補助教材	英検準2級総合対策			7	英検準2級対策P25～35 準2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				9	英検準2級対策P36～46 準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策
				10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検準2級対策P47～57 準2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策
				14	英検準2級総合対策P58～68 2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検準2級総合対策P69～79 準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる				16	短文暗唱テスト 英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策
リスニング対策を定期的に行う				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
【成績評価基準】				23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検準2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策
				31	英検準2級対策P146～156 解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	単熟語テスト100問 長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最合格単熟語EX P3～13	10月受験対策
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	選択必須	2	出る順で最合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	10月受験対策
学年	1学年	担当教員	小林 / 寺田	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	10月受験対策
科目名	English Strategy 英検2級	時間数	102単位時間	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2019長文解答	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5	2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検2級過去問題集 出る順で最合格単熟語EX			6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
補助教材	英検2級総合対策			7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2019年第3回解答	10月受験対策
				10	短文暗唱テスト出る順で最合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	短文暗唱テスト 出る順で最合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156 解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	1	Meeting people	自己紹介をする
学年	1学年	担当教員	Mark Permer / Sara	2	Meeting people	自己紹介をする
科目名	Speaking II	時間数	34単位時間	3	Talking about Interests	趣味について
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	Talking about Interests	趣味について
使用テキスト名	Talk a Lot 1			5	Talking about Family	家族について
補助教材				6	Talking about Family	家族について
科目概要と科目到達目標 英語であいさつや自己紹介、身の回りのことや出来事を伝えることができる。 また、聞き取ることができる。				7	Talking about People	民族について
				8	Talking about People	民族について
授業の進め方・学習方法・課題 「話す」「書く」「読む」「聞く」の4技能を取り入れて授業を行うが、 特に「話す」と「聞く」のペア、グループワークを集中的に行う。 講師とは一方的にならないようコミュニケーションを図りながら進めていく 対面授業と遠隔授業の併用実施				9	Talking about Work	仕事に就いて
				10	Talking about Work	仕事に就いて
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				11	Talking about Past Experiences	過去の経験について
				12	Talking about Past Experiences	過去の経験について
実務経験教員の経歴				13	前期のまとめ①	
				14	前期のまとめ②	
				15	試験	
				16	前期振り返り	
				17	Talking about Sports	スポーツについて
				18	Talking about Sports	スポーツについて
				19	Talking about other Countries	国について
				20	Talking about other Countries	国について
				21	Talking about Experiences	経験について
				22	Talking about Experiences	経験について
				23	Talking about Places	観光地について
				24	Talking about Places	観光地について
				25	Travei English Part	観光英語について
				26	Travei English Part	観光英語について
				27	Talking about Japanese Things	日本文化について
				28	Talking about Japanese Things	日本文化について
				29	後期のまとめ①	
				30	後期のまとめ②	
				31	試験	
				32	試験振り返り	
				33	English Speech①	自分のことについてのスピーチ発表
				34	English Speech②	自分のことについてのスピーチ発表

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	国家試験概要の理解
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	オリエンテーション	国家試験概要の理解
学年	1学年	担当教員	島川 崇	3	旅行業法(目的・登録制度)①	業法 法令毎の対策
科目名	旅行業法	時間数	34単位時間	4	旅行業法(目的・登録制度)②	業法 法令毎の対策
開講期間	前期	授業形態	オンライン授業	5	旅行業法(営業保証金制度)①	業法 法令毎の対策
使用テキスト名	JTБ総研 旅行業法及びこれに基づく命令			6	旅行業法(営業保証金制度)②	業法 法令毎の対策
補助教材	パワーポイントスライド			7	旅行業法(新制度の導入)	業法 法令毎の対策
				8	旅行業法(旅行業務取扱管理者)	業法 法令毎の対策
科目概要と科目到達目標				9	旅行業法(旅行取引に関する諸規制)①	業法 法令毎の対策
旅行業を営むための条件や旅行者と取引するときの決まり事を定めた旅行業法について理解し 旅行業務取扱管理者試験資格の取得を目指す。				10	旅行業法(旅行取引に関する諸規制)②	業法 法令毎の対策
				11	旅行業法(旅程管理)①	業法 法令毎の対策
				12	旅行業法(旅程管理)②	業法 法令毎の対策
				13	旅行業法(禁止行為)①	業法 法令毎の対策
				14	旅行業法(禁止行為)②	業法 法令毎の対策
				15	旅行業法(業務改善命令)	業法 法令毎の対策
授業の進め方・学習方法・課題				16	旅行業法(代理業)	業法 法令毎の対策
テキストと問題集を活用し、授業用穴埋めプリントを作成、使用し進める。 定期的にテストと補講を実施。				17	旅行業法(事業の廃止)①	業法 法令毎の対策
				18	旅行業法(事業の廃止)②	業法 法令毎の対策
				19	旅行業法(旅行業協会)	業法 法令毎の対策
				20	旅行業法(弁済業務)	業法 法令毎の対策
評価方法・成績評価基準				21	旅行業法 まとめテスト1ー1	業法まとめ
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	旅行業法 まとめテスト1ー2	業法まとめ
				23	旅行業法 まとめテスト1ー2	業法まとめ
				24	旅行業法 まとめテスト1ー3	業法まとめ
				25	旅行業法 まとめテスト1ー3	業法まとめ
				26	旅行業法 まとめテスト1ー4	業法まとめ
				27	旅行業法 まとめテスト1ー4	業法まとめ
				28	旅行業法 まとめテスト1ー5	業法まとめ
				29	旅行業法 まとめテスト1ー5	業法まとめ
				30	旅行業法 まとめテスト1ー6	業法まとめ
				31	旅行業法 まとめテスト1ー6	業法まとめ
				32	旅行業法 まとめテスト1ー7	業法まとめ
実務経験教員の経歴				33	旅行業法 テスト振り返り1・補講1	弱点補強対策
航空会社、シンクタンク、添乗員等の幅広い実務経験を有しており、現在は当校をはじめ他大学など複数の学校で教務にあたる。				34	旅行業法 テスト振り返り2・補講2	弱点補強対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	1	募集型企画旅行契約 総則(用語の定義)	国家試験概要の理解
学年	1学年	担当教員	北村 裕美	2	募集型企画旅行契約 契約の締結・変更	募集型企画旅行の理解
科目名	旅行業約款	時間数	51単位時間	3	募集型企画旅行契約 契約の締結・変更	募集型企画旅行の理解
開講期間	前期	授業形態	対面授業	4	募集型企画旅行契約 契約の解除・団体グループ契約	募集型企画旅行の理解
使用テキスト名	JTB総研 旅行業約款/運送・宿泊約款			5	募集型企画旅行契約 契約の解除・団体グループ契約	募集型企画旅行の理解
補助教材	パワーポイントスライド			6	募集型企画旅行契約 旅程管理・責任	募集型企画旅行の理解
				7	募集型企画旅行契約 旅程管理・責任	募集型企画旅行の理解
				8	募集型企画旅行契約 営業保証金・弁済業務保証金	募集型企画旅行の理解
				9	募集型企画旅行契約 営業保証金・弁済業務保証金	募集型企画旅行の理解
科目概要と科目到達目標				10	受注型企画旅行契約 用語の定義・契約の締結	受注型企画旅行の理解
旅行に関する契約を締結する際の数々の約束事についてを理解し 旅行業務取扱管理者試験取得を目指す				11	受注型企画旅行契約 用語の定義・契約の締結	受注型企画旅行の理解
				12	受注型企画旅行契約 契約の変更・解除	受注型企画旅行の理解
				13	受注型企画旅行契約 契約の変更・解除	受注型企画旅行の理解
				14	受注型企画旅行契約 団体グループ契約・旅程管理	受注型企画旅行の理解
				15	受注型企画旅行契約 団体グループ契約・旅程管理	受注型企画旅行の理解
授業の進め方・学習方法・課題				16	科目総合試験	実力テスト
テキストとまとめプリントを使用し、旅行業約款の知識を深め、国家試験合格を目指す。 ひとつの項目の終了ごとにテストを行い、理解度を確認する。				17	科目総合試験	実力テスト(振り返り)
				18	受注型企画旅行契約 責任・営業・弁済保証金	受注型企画旅行の理解
				19	受注型企画旅行契約 責任・営業・弁済保証金	受注型企画旅行の理解
				20	受注型企画旅行契約 責任・営業・弁済保証金	受注型企画旅行の理解
評価方法・成績評価基準				21	特別補償規定 補償金の支払い・種類・手続き	特別補償規定の理解
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	特別補償規定 補償金の支払い・種類・手続き	特別補償規定の理解
【成績評価基準】				23	手配旅行契約 用語の定義・契約の成立	手配旅行契約の理解
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	手配旅行契約 用語の定義・契約の成立	手配旅行契約の理解
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	手配旅行契約 契約の変更及び解除・旅行代金	手配旅行契約の理解
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	手配旅行契約 契約の変更及び解除・旅行代金	手配旅行契約の理解
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	手配旅行契約 団体、グループ手配・責任・補償金	手配旅行契約の理解
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	手配旅行契約 団体、グループ手配・責任・補償金	手配旅行契約の理解
				29	旅行相談契約・渡航手続代行	その他旅行契約の理解
				30	旅行相談契約・渡航手続代行	その他旅行契約の理解
				31	国内旅客運送約款・バス・フェリー・宿泊約款	その他旅行契約の理解
				32	国内旅客運送約款・バス・フェリー・宿泊約款	その他旅行契約の理解
実務経験教員の経歴				33	科目総合試験	実力テスト
航空券の予約・発券・払戻・取消、受託手荷物等、カウンター業務、ゲート業務、出発・到着業務等、グラウンドスタッフとしての全ての業務にに係わる。また、教育インストラクター、接遇インストラクターとしても活躍。実務経験7年				34	科目総合試験	実力テスト(振り返り)

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	1	JR(用語の定義・会社路線図)	JR運賃計算の理解
学年	1学年	担当教員	澤野 仙吉	2	JR(用語の定義・会社路線図)	JR運賃計算の理解
科目名	国内運賃料金	時間数	51単位時間	3	JR(乗車券類発売の概要)	JR運賃計算の理解
開講期間	前期	授業形態	対面授業	4	JR(乗車券類発売の概要)	JR運賃計算の理解
使用テキスト名	JTB総研 国内運賃料金			5	JR(運賃計算・乗車券の種類・運賃計算の特例)	JR運賃計算の理解
補助教材	JR時刻表(紙媒体)・ユークキャン演習教材(紙媒体)			6	JR(運賃計算・乗車券の種類・運賃計算の特例)	JR運賃計算の理解
科目概要と科目到達目標				7	JR(料金計算・乗継割引)	JR運賃計算の理解
JR運賃料金の計算方法や仕組みを体系的に学習・理解するとともに、時刻表を活用し実学で役立つ応用力を身に付ける。国内旅行業務取扱管理者試験の資格取得を目指す。				8	JR(料金計算・乗継割引)	JR運賃計算の理解
				9	JR(新幹線)	JR運賃計算の理解
				10	JR(新幹線)	JR運賃計算の理解
				11	JR(変更・払戻・遅延)	JR運賃計算の理解
				12	JR(変更・払戻・遅延)	JR運賃計算の理解
				13	JR(回数券・団体乗車券)	JR運賃計算の理解
				14	JR(回数券・団体乗車券)	JR運賃計算の理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	JR(団体乗車券の変更・取り消し・払戻)	JR運賃計算の理解
テキストを使用し例題を解き、運賃計算の問題に慣れ国家試験合格を目指す。 定期的に習熟度確認テストを行い、理解度を確認し弱点補強の学習につなげる。				16	JR(団体乗車券の変更・取り消し・払戻)	JR運賃計算の理解
				17	テスト・振り返り	テスト
				18	JR(時刻表)	JR運賃計算の理解
				19	JR(時刻表)	JR運賃計算の理解
				20	JR(特別企画乗車券)	JR運賃計算の理解
評価方法・成績評価基準				21	JR(特別企画乗車券)	JR運賃計算の理解
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	航空(航空券・空港コード)	航空券の運賃の理解
【成績評価基準】				23	航空(航空券・空港コード)	航空券の運賃の理解
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	航空(予約・購入・有効期間・運賃の種類)	航空券の運賃の理解
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	航空(予約・購入・有効期間・運賃の種類)	航空券の運賃の理解
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	航空(運賃・料金・割引運賃・変更取消・払戻)	航空券の運賃の理解
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	航空(運賃・料金・割引運賃・変更取消・払戻)	航空券の運賃の理解
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	貸切バス(運賃・料金)	バスの運賃料金の理解
				29	貸切バス(運賃・料金)	バスの運賃料金の理解
				30	フェリー(運賃・料金)	フェリーの運賃料金の理解
				31	フェリー(運賃・料金)	フェリーの運賃料金の理解
実務経験教員の経歴				32	宿泊(宿泊料金等・変更取消・払戻)	宿泊料金の理解
旅行会社で営業・企画・添乗・カウンター・業務渡航など多岐に渡る業務を経験。その後、異業界での勤務経験や都内の観光系専門学校で実務を経て現在に至る。				33	宿泊(宿泊料金等・変更取消・払戻)	宿泊料金の理解
				34	期末テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	国内地理 導入(勉強法・基礎理解)	地理勉強方法、都道府県庁所在地の理解
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	国内地理 導入(勉強法・基礎理解)	地理勉強方法、都道府県庁所在地の理解
学年	1学年	担当教員	矢後 達夫	3	国立公園・山岳	出題分野ごとの対策
科目名	国内観光資源	時間数	51単位時間	4	国立公園・山岳	出題分野ごとの対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	高原・湿原	出題分野ごとの対策
使用テキスト名	JTB総研「国内観光資源」			6	高原・湿原	出題分野ごとの対策
補助教材	「国内観光地理サブノート」・帝国書院「旅に出たくなる地図」(紙媒体)			7	湖・池・沼	出題分野ごとの対策
				8	湖・池・沼	出題分野ごとの対策
科目概要と科目到達目標				9	島・岬・半島	出題分野ごとの対策
日本国内の観光資源(自然・温泉・祭事等)についての学習について理解を深め 旅行業務取扱管理者試験の資格取得を目指す				10	島・岬・半島	出題分野ごとの対策
				11	海岸・鍾乳洞・洞窟	出題分野ごとの対策
				12	海岸・鍾乳洞・洞窟	出題分野ごとの対策
				13	河川・溪流	出題分野ごとの対策
				14	河川・溪流	出題分野ごとの対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	民謡・陶磁器・郷土料理	過去問題を使った実力テスト
テキストと問題集を活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。 定期的にテストと補講を実施。				16	科目総合確認試験1・弱点確認1/補講1	実力テスト解説、まとめ
補足・国内地理(ICとの合同授業)の授業と併用して試験対策にあてることとする。				17	科目総合確認試験2・弱点確認2/補講2	実力テスト解説、まとめ
				18	渓谷・峡谷・谷	出題分野ごとの対策
				19	渓谷・峡谷・谷	出題分野ごとの対策
				20	庭園・小京都	出題分野ごとの対策
評価方法・成績評価基準				21	庭園・小京都	出題分野ごとの対策
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	温泉(東日本)	出題分野ごとの対策
【成績評価基準】				23	温泉(東日本)	出題分野ごとの対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	温泉(西日本)	出題分野ごとの対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	温泉(西日本)	出題分野ごとの対策
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	寺社・仏閣	出題分野ごとの対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	寺社・仏閣	出題分野ごとの対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	博物館・美術館	出題分野ごとの対策
				29	博物館・美術館	出題分野ごとの対策
				30	寺社・仏閣	出題分野ごとの対策
				31	博物館・美術館	出題分野ごとの対策
実務経験教員の経歴				32	民謡・陶磁器・郷土料理	過去問題を使った実力テスト
旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、 旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間				33	民謡・陶磁器・郷土料理	過去問題を使った実力テスト
				34	期末テスト	実力テスト解説、まとめ

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	旅行業界研究 旅行業界の全体像を把握する	業界の理解
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	旅行業界研究 各企業の特徴理解	業界の理解
学年	1学年	担当教員	矢後 達夫	3	旅行業界研究 職種理解(プランナー)	業界の理解
科目名	国内旅行業界実務	時間数	34単位時間	4	旅行業界研究 職種理解(プランナー)	業界の理解
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	プランナー・添乗実務 添乗員の仕事内容	業界の理解
使用テキスト名	JR時刻表 ・ JTB総研「旅程管理研修 基礎」			6	プランナー・添乗実務 添乗員の仕事内容	業界の理解
補助教材	各旅行会社パンフレット			7	プランナー・添乗実務 ケーススタディ	業界の理解
				8	プランナー・添乗実務 ケーススタディ	業界の理解
科目概要と科目到達目標				9	プランナー・添乗実務 添乗職からの派生	業界の理解
就職活動に向けた実践的な業界実務の習得				10	プランナー・添乗実務 添乗職からの派生	業界の理解
				11	鉄道実務 時刻表読解①	業界の理解
				12	鉄道実務 時刻表読解①	業界の理解
				13	鉄道実務 時刻表読解②	業界の理解
				14	鉄道実務 時刻表読解②	業界の理解
				15	鉄道実務 時刻表基本使用方法の習得(問題形式)	業界の理解
授業の進め方・学習方法・課題				16	鉄道実務 時刻表基本使用方法の習得(問題形式)	業界の理解
業界に必要な知識、接客スキルを実技を通して学ぶ				17	レポート課題作成	確認テスト
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	鉄道実務 時刻表基本使用方法の習得(問題形式)	業界の理解
				19	鉄道実務 時刻表基本使用方法の習得(問題形式)	業界の理解
				20	カウンター実務 時刻表基本使用方法の習得①(プランニング)	業界の理解
				21	カウンター実務 時刻表基本使用方法の習得①(プランニング)	業界の理解
評価方法・成績評価基準				22	カウンター実務 時刻表基本使用方法の習得②(プランニング)	業界の理解
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	カウンター実務 時刻表基本使用方法の習得②(プランニング)	業界の理解
				24	カウンター実務 接客対応基礎	業界の理解
				25	カウンター実務 接客対応基礎	業界の理解
				26	カウンター実務 接客対応基礎(重要知識の理解)	業界の理解
				27	カウンター実務 接客対応基礎(重要知識の理解)	業界の理解
				28	就職活動に向けた志望業界研究と自己考察	業界研究
				29	就職活動に向けた志望業界研究と自己考察	業界研究
				30	就職活動に向けた志望業界研究と自己考察	業界研究
				31	就職活動に向けた志望業界研究と自己考察	業界研究
				32	業界志望動機の作成	エントリーシートの志望動機作成
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				33	業界志望動機の作成	エントリーシートの志望動機作成
				34	レポート課題作成	確認テスト
実務経験教員の経歴						
旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間						

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	世界遺産を学ぶ意義・目的について	観光資源の中の位置づけと試験対策概要
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	世界遺産(国内)について①(動画視聴含)	訪れたい世界遺産
学年	1学年	担当教員	矢後 達夫	3	特別講義)世界遺産登録の意味について学ぶ	佐渡金山(新潟県・県庁より派遣)
科目名	世界遺産 I	時間数	34単位時間	4	世界遺産(国内)について②	前週テスト振り返り
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	世界遺産(国内)について③(動画視聴含)	前週テスト振り返り
使用テキスト名	はじめて学ぶ世界遺産100			6	人類の誕生と古代文明①	ヨーロッパ文明のルーツを学ぶ
補助教材	日本の絶景365日・旅に出たくなる地図・パワーポイント スライド ・DVD			7	人類の誕生と古代文明②	ヨーロッパ文明のルーツを学ぶ
				8	アジア世界の形成と宗教①	アジア地域の文化や宗教の多様性を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	アジア世界の形成と宗教②	アジア地域の文化や宗教の多様性を学ぶ
世界遺産の基礎知識と世界遺産の内容を理解を深め世界遺産検定の取得を目指す。 地理検定や国家試験での必須項目でもあるため国内の世界遺産を中心に知識定着を図る。(TK1) 観光資源としての魅力度も高いため、深く探求することでツーリズムへの興味関心につなげる。 【世界遺産検定】7月・9月・12月・3月(年4回の実施だが、当科としては7月と12月とする)				10	ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代①	中世ヨーロッパの文化や都市国家を学ぶ
				11	ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代②	中世ヨーロッパの文化や都市国家を学ぶ
				12	アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動①	中年米やアフリカの遺跡を学ぶ
				13	特別講義)遺産登録を目指す自治体の実情を知る	新潟県佐渡や奄美沖縄の取り組みを学ぶ
				14	アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動②	中年米やアフリカの遺跡を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	近代国家の成立と世界の近代化①②	近代国家遺産と現代社会の繋がりを知る
ビデオやネット等の動画視聴も織り交ぜた授業構成とし、テキストだけでなく学ぶ楽しさと理解度を向上を図る。 検定までの期間を中心に定期ミニテストを実施し、理解度チェックや弱点補強の対策の一助とする。 併せて、考える力を身に付けさせるため、副教材も活用し想像力を問う課題及び提出物を実施する。				16	世界遺産(国内・世界)の履修範囲テスト	習熟度チェック
				17	世界遺産(国内・世界)の履修範囲テスト	習熟度チェック
				18	特別講義)世界遺産登録の意味について学ぶ	観光資源と地域への影響度を知る
				19	世界遺産登録と地域との関わりについて①	観光資源と地域との関係性を知る
				20	世界遺産登録と地域との関わりについて②	観光資源と地域との関係性を知る
評価方法・成績評価基準				21	世界遺産登録と地域との関わりについて③	観光資源と地域との関係性を知る
				22	世界遺産登録と地域との関わりについて④	観光資源と地域との関係性を知る
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	まとめ	全体履修内容を振り返る
				24	検定対策	実力判定
				25	検定対策	実力判定
				26	検定対策	実力判定
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	世界遺産の魅力を知る①	動画視聴等を活用して遺産を探求する
				28	世界遺産の魅力を知る②	動画視聴等を活用して遺産を探求する
				29	世界遺産の魅力を知る③	動画視聴等を活用して遺産を探求する
				30	世界遺産の魅力を知る④	動画視聴等を活用して遺産を探求する
				31	世界遺産の魅力を知る⑤	動画視聴等を活用して遺産を探求する
実務経験教員の経歴				32	世界遺産の魅力を知る⑥	動画視聴等を活用して遺産を探求する
旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間				33	世界遺産の魅力を知る⑦	動画視聴等を活用して遺産を探求する
				34	世界遺産の魅力を知る⑧	動画視聴等を活用して遺産を探求する

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	この授業の意義・目的について
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
学年	1学年	担当教員	矢後 達夫	3	ビジュアルな視点をを用いた学習の有効性	郷土料理について
科目名	国家試験対策	時間数	17単位時間	4	前項の確認テスト	習熟度確認
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
使用テキスト名	国内旅行地理プラクティカル、国内観光地理サブノート			6	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
補助教材	ユーキャン演習問題(紙媒体)			7	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				8	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
科目概要と科目到達目標				9	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
過去の国内旅行業務取扱管理者試験や地理検定・模試の問題に挑し、問題の傾向を掴む。 それぞれの問題を解き、一つ一つの問題に対する回答の説明をすることで、理解を深める。 国家試験をはじめ、地理検定や世界遺産検定への合格を目指す。				10	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				11	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				12	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				13	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				14	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
①昨年、2年前、3年前、4年前、5年前との順にさかのぼって問題に取り組む。				16	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
②低回答率等から弱点や強化対策の項目を抽出し、その後の対策にあてる。				17	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
旅行会社で営業・企画・添乗・カウンター・業務渡航など多岐に渡る業務を経験。その後、異業界での勤務経験や都内の観光系専門学校で教員実務を経て現在に至る。				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	アジア(韓国・中国)	海外地理知識の習得
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	アジア(韓国・中国)	海外地理知識の習得
学年	1学年	担当教員	若井 省三	3	アジア(中国・東南アジア)	海外地理知識の習得
科目名	海外観光資源	時間数	34単位時間	4	アジア(中国・東南アジア)	海外地理知識の習得
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	アジア(中国・東南アジア)	海外地理知識の習得
使用テキスト名	JTB総研 海外観光資源			6	アジア(東南アジア・中央アジア)	海外地理知識の習得
補助教材	海外旅行地理サブノート(紙媒体)			7	アジア(東南アジア・中央アジア)	海外地理知識の習得
				8	アジア(東南アジア・中央アジア)	海外地理知識の習得
科目概要と科目到達目標				9	アジア(東南アジア・中央アジア)	海外地理知識の習得
海外の国々の観光資源について学ぶ				10	ヨーロッパ(フランス・イギリス・ドイツ)	海外地理知識の習得
到達目標としては、次年度の総合旅行業務取扱管理者の資格取得に向けた対策授業であり、				11	ヨーロッパ(フランス・イギリス・ドイツ)	海外地理知識の習得
1年次で海外の観光資源について知識を深めることを目的とする。				12	ヨーロッパ(フランス・イギリス・ドイツ)	海外地理知識の習得
				13	ヨーロッパ(フランス・イギリス・ドイツ)	海外地理知識の習得
				14	ヨーロッパ(ドイツ・イタリア・東欧)	海外地理知識の習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	ヨーロッパ(ドイツ・イタリア・東欧)	海外地理知識の習得
テキストと問題集を活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。				16	ヨーロッパ(ドイツ・イタリア・東欧)	海外地理知識の習得
定期的な豆テストと補講を実施。				17	期末テスト	まとめテスト
				18	ヨーロッパ(ドイツ・イタリア・東欧)	海外地理知識の習得
				19	ヨーロッパ(ドイツ・イタリア・東欧)	海外地理知識の習得
				20	ヨーロッパ(東欧・北欧)	海外地理知識の習得
評価方法・成績評価基準				21	ヨーロッパ(東欧・北欧)	海外地理知識の習得
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	ヨーロッパ(東欧・北欧)	海外地理知識の習得
【成績評価基準】				23	ヨーロッパ(東欧・北欧)	海外地理知識の習得
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	北米(アメリカ)	海外地理知識の習得
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	北米(アメリカ)	海外地理知識の習得
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	北米(アメリカ)	海外地理知識の習得
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	北米(アメリカ)	海外地理知識の習得
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	北米(アメリカ・カナダ)	海外地理知識の習得
				29	北米(アメリカ・カナダ)	海外地理知識の習得
				30	北米(アメリカ・カナダ)	海外地理知識の習得
				31	北米(アメリカ・カナダ)	海外地理知識の習得
実務経験教員の経歴				32	ハワイ	海外地理知識の習得
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 40年間				33	ハワイ	海外地理知識の習得
				34	期末テスト	まとめテスト

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	1	Taking Phone Calls	Requests with can/ could, I'd like to
学年	1学年	担当教員	坂上啓貴	2	Giving information	Present Simple of be, Is there/ Are there?
科目名	旅行英語 I	時間数	34単位時間	3	Taking room reservation	Do, Does Prepositions of time(on, at, in)
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	Taking Restaurant bookings	Dates Adverbs pf frequency
使用テキスト名	English for Tourism Professionals			5	Taking Restaurant bookings	Dates Adverbs pf frequency
補助教材				6	Giving polite explanations	Present Simple (Be, Do, Can)
科目概要と科目到達目標				7	Giving polite explanations	Present Simple (Be, Do, Can)
				8	Receiving guests	Possessive adjective(my, yours, his, her)
科目概要: サービス業で使う英会話を学び、反復練習を通して実践的な英語スキルを身に付ける。 後期では外国人講師とロールプレイを実施する。 科目到達目標: サービス業で使う生きた英語表現を身につける。				9	Receiving guests	Possessive adjective(my, yours, his, her)
				10	Serving in the bar	Requests and offers with can, could, shall?
				11	Serving in the bar	Requests and offers with can, could, shall?
				12	Instructions	take, dill, pour, sequence markers(first, next)
				13	Instructions	take, dill, pour, sequence markers(first, next)
				14	Taking a food order	a/an
授業の進め方・学習方法・課題				15	Taking a food order	a/an
外資系のホテルで必須の英語表現を学び、実践的な練習を反復して行う。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	Dessert and Cheese	some, any
				17	前期末テスト	
				18	Dessert and Cheese	some, any
				19	Talking about wine	comparisons
				20	Talking about wine	comparisons
評価方法・成績評価基準				21	Talking about wine	comparisons
出席30%、課題30%、テスト40% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Dealing with requests	Offering help(I'll get you)
				23	Dealing with requests	Offering help(I'll get you)
				24	Dealing with requests	Offering help(I'll get you)
				25	Describing Dishes	Present Simple Passive
				26	Describing Dishes	Present Simple Passive
				27	Describing Dishes	Present Simple Passive
				28	Review	
				29	Review	
				30	Dealing With Complains	Past Simple
				31	Dealing With Complains	Past Simple
実務経験教員の経歴				32	Assessment	
				33	Assessment	
				34	後期末テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	旅行プランニングとは	アイスブレイクと概要理解
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	2021年予測データからの分析①	分析力を磨く
学年	1学年	担当教員	澤野 仙吉	3	2021年予測データからの分析②	分析力を磨く
科目名	プランニング基礎	時間数	34単位時間	4	各自分析した資料を基にグループディスカッション	提案力を磨く
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	各自分析した資料を基にグループディスカッション	提案力を磨く
使用テキスト名				6	プランニング(マーケティング)	プランニングのやり方を学ぶ
補助教材	各旅行会社実販売旅行パンフレット			7	プランニング(マーケティング)	プランニングのやり方を学ぶ
				8	プランニング応用(原価計算)	プランニングのやり方を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	プラン作成①	プランニングのやり方を学ぶ
旅行プランニングをつくり方を学ぶ事で、創造力、分析力を磨き、校内プランニングコンテストで優良なプランを発表する。				10	プラン作成②	プランニングのやり方を学ぶ
				11	プレゼンテーションプレ発表	プレゼンテーション技法を習得
				12	プレゼンテーション技法基礎	プレゼンテーション技法を習得
				13	本選プラン作成①	プランニングの実践
				14	本選プラン作成②	プランニングの実践
授業の進め方・学習方法・課題				15	本選プラン作成③	プランニングの実践
グループワークで分析力を磨き、プランニングの練習を行い、本選に出す作品を仕上げる。				16	本選プラン作成④	プランニングの実践
				17	プレゼンテーション演習	プレゼンテーション技法を習得
				18	本選向けリハーサル①	プレゼンテーション技法を習得
				19	本選向けリハーサル②	プレゼンテーション技法を習得
				20	本選向けリハーサル③	プレゼンテーション技法を習得
評価方法・成績評価基準				21	プランニングコンテスト本選	まとめ
①定期試験20% ②授業への積極的参加20% ③提出物50% ④学習意欲10%				22	プランニングコンテスト振り返り	優良事例の共有
【成績評価基準】				23	プランニングコンテスト受賞作品の分析	優良事例の共有
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	プラン作成①	プランニングのやり方を学ぶ
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	プラン作成②	プランニングのやり方を学ぶ
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	プレゼンテーションプレ発表	プレゼンテーション技法を習得
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	プラン作成①	プランニングのやり方を学ぶ
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	プラン作成②	プランニングのやり方を学ぶ
				29	プレゼンテーションプレ発表	プレゼンテーション技法を習得
				30	プレゼンテーションプレ発表	プレゼンテーション技法を習得
実務経験教員の経歴				31	プレゼンテーション実技テスト	プレゼンテーション技法を習得
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験				32	プレゼンテーション実技テスト	プレゼンテーション技法を習得
				33	プレゼンテーション実技テスト振り返り	プレゼンテーション技法を習得
				34	プレゼンテーション実技テスト振り返り	プレゼンテーション技法を習得

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション①	年間計画等について
学 科 名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	振り返り	1年次の履修範囲の確認
学 年	1学年	担当教員	矢後 達夫	3	ライフサイクル	価格マネジメントについて理解する
科 目 名	マーケティング I	時間数	34単位時間	4	航空郵送から見た価格設定①	価格マネジメントについて理解する
開講期間	前期及び後期	授業形態	対面授業	5	航空郵送から見た価格設定②	価格マネジメントについて理解する
使用テキスト名	JTＢ総研「観光のマーケティング・マネジメント」			6	企業戦略①	価格マネジメントについて理解する
補助教材	パワーポイントスライド			7	企業戦略②	価格マネジメントについて理解する
科目概要と科目到達目標				8	ビジネスモデルイノベーション①	企業事例研究
旅行業を営むための条件や旅行者と取引するときの決まり事を定めた旅行業法について理解し 旅行業務取扱管理者試験資格の取得を目指す。				9	ビジネスモデルイノベーション②	企業事例研究
				10	ビジネスモデルイノベーション③	企業事例研究
				11	ビジネスモデルイノベーション④	企業事例研究
				12	ビジネスモデルイノベーション⑤	企業事例研究
				13	ビジネスモデルイノベーション⑥	企業事例研究
				14	ビジネスモデルイノベーション⑦	企業事例研究
授業の進め方・学習方法・課題				15	ビジネスモデルイノベーション⑧	企業事例研究
テキストを中心に「観光マーケティング」の仕組みや考え方を学ぶ。 通期の中で数回、外部講師による「マーケティング」の実社会での取り組み等の講義を予定。(詳細別途) 京都をモデルとした理論を学ぶとともに実習(京都)を取り入れる。 前期テスト(記述・選択式)、後期テスト(選択・記述式)				16	オリエンテーション②	前期振り返りと後期に向けて
				17	指定範囲について	確認テスト
				18	海外旅行商材	流通チャネルのマネジメントを知る
				19	流通チャネルについて(実習予定)	流通チャネルのマネジメントを知る
				20	流通チャネルについて(実習予定)	流通チャネルのマネジメントを知る
評価方法・成績評価基準				21	メディア戦略	流通チャネルのマネジメントを知る
①定期試験30% ②授業への積極的参加20% ③提出物40% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	インバウンドマネジメント(外部講師オンデマンド)	プロモーションマネジメントを理解する
				23	ホスピタリティーマネジメント①	プロモーションマネジメントを理解する
				24	ホスピタリティーマネジメント②	プロモーションマネジメントを理解する
				25	ホスピタリティーマネジメント③	プロモーションマネジメントを理解する
				26	インバウンドマネジメント(外部講師予定)	プロモーションマネジメントを理解する
				27	インバウンドビジネス①	プロモーションマネジメントを理解する
				28	インバウンドビジネス②	プロモーションマネジメントを理解する
				29	インバウンドビジネス③	プロモーションマネジメントを理解する
				30	インバウンドビジネス④	プロモーションマネジメントを理解する
				31	2年間総括①	プレゼンテーション
実務経験教員の経歴				32	2年間総括②	プレゼンテーション
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間				33	2年間総括③	プレゼンテーション
				34	年度末テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	ableとは？ 授業内容・進め方・評価基準など	ableの理解
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	国内予約の基礎 ・予備知識 ・国内線の航空会社 ・基本コード	専門知識の理解
学年	1学年	担当教員	北村 裕美	3	国内予約の基礎 ・旅行業界で使われるアルファベットの読み方他	専門知識の理解
科目名	国際航空運賃	時間数	34単位時間	4	国内予約の基礎 ・予約受付(航空券発売) ・航空券購入期限 ・運賃区分	航空券とは？
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	国内予約の基礎 ・予約システムの基本操作 ・キーボード入力	基本操作への理解
使用テキスト名	INFINI Reservation and Fare Pricing			6	国内予約の基礎 ・入力コード ・サインイン・アウト ・PNR作成 ・空席照会	基本操作への理解
補助教材	なし			7	国内予約の基礎 ・空席照会からの予約 ・便名指定 ・直行便・乗継便	予約発券業務への操作の理解 実技演習
科目概要と科目到達目標				8	国内予約の基礎 ・キャンセル待ちの予約 ・便名指定の予約 ・その他	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				9	国内予約の基礎 ・旅客氏名と年齢・性別の入力 ・入力ローマ字つづり	予約発券業務への操作の理解 実技演習
○科目概要: ANA国内線の予約・発券システムです。ANAグループの飛行機の予約・発券について お役様がインターネット以外でお申込みをされる際は、旅行会社、予約センター他で受け付けておりその際スタッフが使用する共通の予約発券システム ○科目到達目標: 1年間でAXESS国内線1級取得に向け授業を進める。また、実技対応として、考えて対応できるスキルを身に付ける。				10	国内予約の基礎 ・旅客氏名の削除と訂正 ・年齢・性別の追加・削除・訂正	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				11	国内予約の基礎 ・連絡先電話番号 ・削除と訂正 ・申込者と担当者	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				12	国内予約の基礎 ・PNRの完了 ・PNR中断 ・PNRの抽出	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				13	国内予約の基礎 ・座席指定 ・表示 ・入力 ・削除 ・自動取り消し	座席指定・変更・キャンセルへの理解
授業の進め方・学習方法・課題				14	国内予約の基礎 ・旅程の取り消し・変更・旅客数の変更 ・一部変更	座席指定・変更・キャンセルへの理解
				15	国内予約の基礎 ・前旅程の取り消し ・便の取り消し 他	座席指定・変更・キャンセルへの理解
教科書を主体に、基礎知識を身に付けながら、実際PCを活用し習得する方法である。 講師より予め、問題を作成されたものを練習問題として学生がPCを使って予約・発券に取り組む学習方法。 課題に関して、自宅ではできない為授業時間内にて、説明→PC操作→解答→PC操作など繰り返すことで身に付けていく。				16	国内予約の基礎 ・PNRの分割 ・一部旅客の取り消し・変更 ・入力手順	座席指定・変更・キャンセルへの理解
				17	国内予約の基礎 ・旅客の追加 他	旅客情報入力
				18	国内発券の基礎 ・運賃と料金 ・料金の種類 ・区間運賃料金の表示	運賃料金への理解
				19	国内発券の基礎 ・特定運賃のルールを表示 ・シズナリティを表示	特別運賃料金への理解
評価方法・成績評価基準				20	国内発券の基礎 ・自動運賃計算 ・自動発券 ・発券指示の入力他	運賃計算への理解
				21	国内発券の基礎 ・国内eチケット基本事項 ・航空券の有効期限・払戻し	航空券の有効期限・払戻への知識
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	国内発券の基礎 ・交換発行 ・認証コード ・発券ファイルと発券リンク	発券ファイルとは・理解と応用
				23	国内発券の基礎 ・発券済みPNR ・発券ファイルのPNR ・発券ファイルの基本表示画面	発券ファイルとは・理解と応用
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				24	国内発券の基礎 ・各種運賃の予約・発券 ・普通運賃 ・大人片道	各種運賃料金への理解
				25	国内発券の基礎 ・往復 ・小児・無料同伴幼児・外国人名+帰りオープン券	各種運賃料金への理解
				26	国内発券の基礎 ・ファーストクラス ・クラスJ他	特別料金とは理解
				27	国内発券の基礎 ・割引運賃 ・ウルトラ先得 ・スーパー先得 ・先得割引A	特別料金とは理解
				28	国内発券の基礎 ・先得割引B ・特便割1タイプA・B・C・D	特別料金とは理解
				29	国内発券の基礎 ・特便割3タイプA・B・C・D ・特便割7タイプA・B・C・D	特別料金とは理解
実務経験教員の経歴				30	国内発券の基礎 ・特便割2タイプA・B・C・D ・乗継割引7・28	特別料金とは理解
				31	国内発券の基礎 ・身体障害者割引 ・シヤトル割引 ・介護婦省割引	特別料金とは理解
航空券の予約・発券・払戻・取消、受託手荷物等、カウンター業務、ゲート業務、出発・到着業務等、グラウンドスタッフとしての全ての業務にに係わる。また、教育インストラクター、接遇インストラクターとしても活躍。実務経験7年				32	国内発券の基礎 ・スカイメイト ・お帰り確約 ・特別乗継割引 ・離島割引	特別料金とは理解
				33	国内発券の基礎 ・優待割引運賃 ・株主&代理店割引	特別料金とは理解
				34	まとめ	まとめ

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	SDGsの基本知識について①	SDGsとは何かを理解する
学年	1学年	担当教員	坂上/マークマリン/桑野/金	3	SDGsの基本知識について②	SDGsとは何かを理解する
科目名	国際理解 I	時間数	68単位時間	4	SDGsの基本知識について③	SDGsとは何かを理解する
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	SDGsの基本知識について④	SDGsとは何かを理解する
使用テキスト名	SDGsみただけノート			6	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
補助教材				7	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
				8	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
科目概要と科目到達目標				9	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。 ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、 「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。 また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら 世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				10	地域の問題を解決するための行動とは①	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				11	地域の問題を解決するための行動とは②	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				12	地域の問題を解決するための行動とは③	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				13	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
				14	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
前期では、SDGsについての理解を深め、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、 どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。 後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				16	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
				17	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
				18	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
				19	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
				20	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
評価方法・成績評価基準				21	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
				22	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				24	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				27	活動の振り返り⑥	改善点の提起
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	1年間の活動報告をまとめる①	活動報告をまとめる
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	1年間の活動報告をまとめる②	プレゼンテーションスキルを学ぶ
				30	1年間の活動報告をまとめる③	
				31	クラス内で活動報告を発表する	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必修	1	Chapter1 Wordの基本ー(Wordの起動・画面構成・操作・ヘルプの使い方)	基本操作の理解
学年	1学年	担当教員	今井真由美	2	Chapter1練習問題・テスト	文字入力について
科目名	PC実習 I	時間数	68単位時間	3	Chapter2 文字入力と基本操作ー(新規文書の作成・日本語入力システム)	文字入力について
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	文字入力と基本操作ー(文字の入力と変換・単語の登録)	文字入力について
使用テキスト名	Microsoft Word/Excel 2019 クイックマスター			5	文字入力と基本操作ー(文書の保存・文字の選択)	文字入力について
補助教材	Word /Excel文書処理技能認定試験 問題集			6	文字入力と基本操作ー(文字列の編集・コピー・移動)	文字入力について
科目概要と科目到達目標				7	Chapter2練習問題・テスト	文字入力について
Word処理技能検定3級取得				8	Chapter3 文書の編集ー(学習する内容・ページ書式設定)	文章の編集について
Excel表計算処理技能認定試験3級 取得				9	文書の編集ー(文字の書式設定・文字幅と間隔の設定)	文章の編集について
				10	文書の編集ー(文字の配置・字下げと行間の設定)	文章の編集について
				11	文書の編集ー(禁則処理・罫線と網掛け)	文章の編集について
				12	Chapter3練習問題・テスト	文章の編集について
				13	Chapter4 文書の印刷ー(学習する内容・改ページの挿入)	印刷について
				14	文書の印刷ー(ヘッダー・フッターの設定)	印刷について
授業の進め方・学習方法・課題				15	文書の印刷ー(印刷イメージの確認方法・印刷の実行)	印刷について
Word処理技能検定3級・Excel表計算処理技能認定試験3級 合格				16	Chapter4練習問題・テスト	印刷について
3級に必要な時間内でのタイピング、罫線の引き方、文字設定の仕方、印刷のかけ方				17	Chapter5 文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/あいさつ文)	文章フォーマットについて
など基本的な作業を理解し、ビジネスレターやポスターなどを効率的に製作する方法を学ぶ				18	文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/段落番号・設定)	文章フォーマットについて
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	文書の作成ー(罫表書きの設定・タブ)	文章フォーマットについて
				20	TOEIC公開テスト対策	文章フォーマットについて
評価方法・成績評価基準				21	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)①	文章フォーマットについて
①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				22	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)②	文章フォーマットについて
【成績評価基準】				23	Chapter5練習問題・テスト	文章フォーマットについて
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	Chapter6 表を使った文書の作成ー(学習する内容・表の作成)	表の作成について
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	表を使った文書の作成ー(表の選択方法・表の編集)	表の作成について
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	表を使った文書の作成ー(表の装飾・文字列から表を作成する)	表の作成について
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	Chapter6練習問題・テスト	表の作成について
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成ー(学習する内容・図形の作成)①	図形や画像作成について
				29	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の作成)②	図形や画像作成について
				30	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)①	図形や画像作成について
				31	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)②	図形や画像作成について
実務経験教員の経歴				32	図形や画像を使った文書の作成ー(横書きテキスト ボックスの挿入・ワードアートの挿入)	図形や画像作成について
				33	Chapter7練習問題・テスト	図形や画像作成について
				34	総合学習問題・テスト	

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	選択必修	1	第1課 我饿了。	声調の習得
学年	1学年	担当教員	富田朋美	2	第1課 我饿了。	韻母1の習得
科目名	中国語 I	時間数	68単位時間	3	第1課 我饿了。	声母1の習得
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	第1課 我饿了。	韻母2 軽声の習得
使用テキスト名	中国語への道【初級編】—近きより遠きへ— 改訂版			5	第2課 真好吃。	声母2の習得
補助教材				6	第2課 真好吃。	韻母nとngの使い分け
科目概要と科目到達目標				7	第2課 真好吃。	変調パターン1の習得
				8	第2課 真好吃。	数字の習得
科目到達目標: 中国語検定試験 準4級取得または準4級取得程度の文法と単語の習得 定型の挨拶や簡単な会話ができるようになる。 文字をみて正しい発音ができるようになる。				9	第3課 多少钱?	量詞の習得
				10	第3課 多少钱?	軽声2の習得
				11	第3課 多少钱?	変調パターン2の習得
				12	第3課 多少钱?	変調パターン3の習得
				13	決まり文句・あいさつ表現	儿化について知る
				14	第4課 我们都是学生。	A是/不是Bの使い分け
授業の進め方・学習方法・課題 前期では文字の習得を主な目標とし、文字を見て発音できるようにグループワークなどを通じて行う。 後期は、日常生活に必要な単語を習得し、意思疎通に最低限必要な文法を講義形式中心に行う。授業後半では必ず発話練習をペアワークで行う。				15	第4課 我们都是学生。	疑問文～吗の使い方
				16	第4課 我们都是学生。	也と都の使い分け
				17	第5課 你去哪儿?	人称代名詞の使い方
				18	第5課 你去哪儿?	述語と目的語の見分け方
				19	第5課 你去哪儿?	名前の言い方の習得
				20	第6課 你今年多大了?	名詞述語文の使い方
評価方法・成績評価基準 ①定期試験・検定合格 40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	第6課 你今年多大了?	省略疑問文の使い方
				22	第6課 你今年多大了?	月日曜日の言い方
				23	第7課 这个很好吃。	形容詞述語文の使い方
				24	第7課 这个很好吃。	比較文の使い方
				25	第7課 这个很好吃。	反復疑問文の使い方
				26	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				27	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				28	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				29	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				30	第8課 你家在哪儿?	“在”所在の使い方
実務経験教員の経歴				31	第8課 你家在哪儿?	“有”所在、所有の使い方
				32	第8課 你家在哪儿?	時点と時量の塚方
				33	期末テスト	
				34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	選択必修	1	ハングル能力試験対策1	模擬問題を解く
学年	1学年	担当教員	中林・柳	2	ハングル能力試験対策2	模擬問題を解く
科目名	韓国語 I	時間数	68単位時間	3	ハングル能力試験対策3	模擬問題を解く
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	ハングル能力試験対策4	模擬問題を解く
使用テキスト名	実用韓国語文法初級			5	ハングル能力試験対策5	模擬問題を解く
補助教材	韓国語と韓国文化基礎			6	ハングル能力試験対策6	模擬問題を解く
				7	ハングル能力試験対策7	模擬問題を解く
科目概要と科目到達目標				8	1. あいさつ1	あいさつができる
科目到達目標:ハングル能力検定試験 5級取得または5級取得程度の文法と単語の習得 定型の挨拶や簡単な会話ができるようになる。 文字をみて正しい発音ができるようになる。				9	1. あいさつ2	あいさつができる
				10	2. 母音1	韓国語の母音を学ぶ
				11	2. 母音2	韓国語の母音を学ぶ
				12	3. 子音/濁る音1	韓国語の子音を学ぶ
				13	3. 子音/濁る音2	韓国語の子音を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				14	4. 子音/息を強く吐く音1	韓国語の子音を学ぶ
前期では文字の習得を主な目標とし、文字を見て発音できるように グループワークなどを通じて行う。 後期は、日常生活に必要な単語を習得し、意思疎通に最低限必要な文法を 講義形式中心に行う。授業後半では必ず発話練習をペアワークで行う。				15	前期試験	
				16	ハングル能力試験対策8	模擬問題を解く
				17	ハングル能力試験対策9	模擬問題を解く
				18	ハングル能力試験対策10	模擬問題を解く
				19	ハングル能力試験対策11	模擬問題を解く
評価方法・成績評価基準				20	ハングル能力試験対策12	模擬問題を解く
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	ハングル能力試験対策13	模擬問題を解く
				22	ハングル能力試験対策14	模擬問題を解く
				23	ハングル能力試験対策15	模擬問題を解く
				24	ハングル能力試験対策16	模擬問題を解く
				25	ハングル能力試験対策17	模擬問題を解く
				26	ハングル能力試験対策18	模擬問題を解く
				27	4. 子音/息を強く吐く音2	韓国語の子音を学ぶ
				28	5. 合体する母音1	韓国語の母音を学ぶ
				29	5. 合体する母音2	韓国語の母音を学ぶ
				30	6. パッチム1	韓国語のパッチムについて学ぶ
実務経験教員の経歴				31	6. パッチム2	韓国語のパッチムについて学ぶ
				32	7. 自己紹介1	自己紹介ができる
				33	7. 自己紹介2	自己紹介ができる
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	就活の挑む上での考え方	希望する仕事・能力・社会のニーズについて
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	コミュニケーション検定に向けて(RART1)	コミュニケーションの力
学年	1学年	担当教員	矢後 達夫	3	コミュニケーション検定に向けて(RART2)	聞く力①
科目名	就職実務 I	時間数	51単位時間	4	コミュニケーション検定に向けて(RART3)	聞く力②
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	コミュニケーション検定に向けて(RART4)	話す力①
使用テキスト名	勝つための就職ガイド NEW SUCCESS			6	コミュニケーション検定に向けて(RART5)	話す力②
補助教材	コミュニケーション検定(初級)ガイドブック(紙媒体)			7	コミュニケーション検定に向けて(RART6)	来客対応
科目概要と科目到達目標				8	コミュニケーション検定に向けて(RART7)	電話対応
科目到達目標:就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う。 就活に必須のコミュニケーションやマナー全般に関する知識習得を目指す。				9	コミュニケーション検定に向けて(RART8)	アポイントメント
				10	コミュニケーション検定に向けて(RART9)	接客・営業・クレーム対応・会議・面接
				11	習熟度確認テスト①	知識試験編・PART1
				12	習熟度確認テスト②	知識試験編・PART2
				13	SUCCESS P6～16 就職活動の心構え	社会人と学生の違いを知る
				14	SUCCESS P17～21 自己分析・自己PR	自己分析・他己分析をふまえて自己PRを考える
授業の進め方・学習方法・課題				15	SUCCESS P24～25 自分史作成	自己PR分の基本構成作成
前半は7月29日実施のコミュニケーション検定に向けた学習をメインとする。 後半は就活の基本～実践編及び時事問題など幅広く、適職に巡り合う術を学ぶ。				16	SUCCESS P27～31 職業を知る	職業観を身に付ける
				17	SUCCESS P32～39 志望動機・情報収集	職種・企業・業界研究について学ぶ
				18	SUCCESS P40～P45 SNS・ハガキ	個人情報・資料請求・書類の書き方を学ぶ
				19	SUCCESS P46～48 求人票の見方①求人者②採用条件③勤務条件	求人票の見方とネットワークに関して理解する
				20	SUCCESS P49～53 エントリーシート・インターンシップ	インターンシップ・各シートの記入方
評価方法・成績評価基準				21	SUCCESS P54～55 作成書類 ①履歴書の書き方②記入事項のポイント	履歴書作成に關しての注意点を学ぶ
				22	SUCCESS P56～P57 作成書類・履歴書作成個人作業	履歴書を書いてみる
一般常識テスト40%、書類作成の理解度30%、学習意欲20%、面接対策10%				23	SUCCESS P58 応募書類の添え状について	添え状の書き方について学ぶ
【成績評価基準】				24	最新最強の一般常識 時事問題 政治 国際情勢	筆記試験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	最新最強のSPI SPIの基礎知識 SPI適正検査とは	筆記試験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	最新最強のSPI 非言語能力問題	筆記試験対策
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				27	就活で押さえておきたい時事問題①	
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	就活で押さえておきたい時事問題②	
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	就活で押さえておきたい時事問題③	
				30	就活で押さえておきたい時事問題④	
				31	就活で押さえておきたい時事問題⑤	
実務経験教員の経歴				32	就活で押さえておきたい時事問題②	
旅行会社で営業・企画・添乗・カウンター・業務渡航など多岐に渡る業務を経験。その後、異業界での勤務経験や都内の観光系専門学校で教員実務を経て現在に至る。				33	就活で押さえておきたい時事問題①	
				34	就活で押さえておきたい時事問題②	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションにおいて大切なことの理解
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	相手を動かすプレゼンテーションとは(グループワーク①)	プレゼンテーションにおいて大切なことの理解
学年	1学年	担当教員	古沢通子	3	相手を動かすプレゼンテーションとは(グループワーク②)	プレゼンテーションにおいて大切なことの理解
科目名	プレゼンテーション演習	時間数	17単位時間	4	相手を動かすプレゼンテーションとは(発表①)	プレゼンテーションの実践
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	相手を動かすプレゼンテーションとは(発表②)	プレゼンテーションの実践
使用テキスト名	自作PPT			6	プレゼンテーションの振り返り	プレゼンテーションの実践と振り返り
補助教材	パワーポイント スライド			7	実践練習 口頭① 準備	プレゼンテーションの実践
				8	実践練習 口頭① 発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
科目概要と科目到達目標				9	実践練習 口頭① 発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
後期のプランニングコンテストや社会に活かせるプレゼンテーション力を身につける				10	実践練習 パワーポイント活用② 準備	プレゼンテーションの実践
				11	実践練習 パワーポイント活用② 発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
				12	実践練習 パワーポイント活用② 発表	プレゼンテーションの実践と振り返り
				13	相手を動かすプレゼンテーションとは	優良事例の共有
				14	実践テスト 準備	プレゼンテーションの実践
授業の進め方・学習方法・課題				15	実践テスト 準備	プレゼンテーションの実践
様々なプレゼンテーションを通してプレゼンテーション力を磨く				16	実践テスト 準備	プレゼンテーションの実践
				17	実践テスト 準備	プレゼンテーションの実践
対面授業と遠隔授業の併用実施				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
実務経験教員の経歴				33		
				34		

【成績評価基準】

- A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
 B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している
 C=良(79-79点) 到達目標を達成している
 D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している
 E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	小論文とは	プレゼンテーションにおいて大切なことの理解
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	小論文対策①	将来の仕事に結びつける
学年	1学年	担当教員	丹田充	3	小論文対策①(添削と解説)	将来の仕事に結びつける
科目名	小論文概論	時間数	17単位時間	4	小論文対策②	自分の意見を論理的に述べる力を養う
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	小論文対策②(添削と解説)	自分の意見を論理的に述べる力を養う
使用テキスト名	自作PPT			6	小論文対策③	意見に沿った根拠を述べる力を養う
補助教材	パワーポイント スライド			7	小論文対策③(添削と解説)	意見に沿った根拠を述べる力を養う
				8	小論文対策④	将来の仕事に結びつける
科目概要と科目到達目標				9	小論文対策④(添削と解説)	将来の仕事に結びつける
就職する上で必要な論理的思考力、発信力、傾聴力、説得力を身につける				10	小論文対策⑤	自分の意見を論理的に述べる力を養う
				11	小論文対策⑤(添削と解説)	自分の意見を論理的に述べる力を養う
				12	小論文対策⑥	意見に沿った根拠を述べる力を養う
				13	小論文対策⑥(添削と解説)	意見に沿った根拠を述べる力を養う
				14	小論文対策⑦	論理的思考力を養う
授業の進め方・学習方法・課題				15	小論文対策⑦(添削と解説)	論理的思考力を養う
テーマに合わせて小論文を作成し、添削し、授業で解説する。				16	期末テスト	
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	振り返り	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	何故メイクが必要か？メイクの必要性について	何故メイクをするのか？ 授業進度について 評価方法
学科名	専攻科 旅行ビジネスコース	必須・選択	必須	2	自己紹介 ・メイクについて絡ませながらの自己紹介	自分にとってのメイクとは？
学年	1学年	担当教員	加藤広美	3	自分流のメイク	自分流のメイクとは何？身だしなみの違いについて
科目名	リクルートメイク実習	時間数	68単位時間	4	普段のメイクと仕事メイクの違いについて	ビジネスメイクとは？
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	航空業界のメイクについて ・国内線と外資系 客室乗務員メイク	業界によつてのメイク使いが違うことを知ろう
使用テキスト名				6	顔立ちからのメイク方法	人それぞれの骨格によつてメイクが変わる
補助教材	エアステージ			7	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ
				8	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ
就職に伴い、必要となるメイク指導から自分でMakingできる技術を学ぶ ⇒第一印象であったり、老若男女に好かれるメイク方法を学ぶ				10	顔立ちからのメイク方法 ・ベース	基礎メイクの方法を学ぶ
				11	顔立ちからのメイク方法 ・ベース	基礎メイクの方法を学ぶ
				12	顔立ちからのメイク方法 ・眉	基礎メイクの方法を学ぶ
				13	顔立ちからのメイク方法 ・眉	基礎メイクの方法を学ぶ
				14	顔立ちからのメイク方法 ・目	基礎メイクの方法を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	顔立ちからのメイク方法 ・目	基礎メイクの方法を学ぶ
講師の先生より、毎回モデルになってもらう学生を選び、それぞれの顔立ちからMakingしていくことで学んでいく				16	顔立ちからのメイク方法 ・目	基礎メイクの方法を学ぶ
○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール	基礎メイクの方法を学ぶ
				18	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール	基礎メイクの方法を学ぶ
				19	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール 色合い	基礎メイクの方法を学ぶ
				20	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール 色合い	基礎メイクの方法を学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	顔立ちからのメイク方法 ・アイラインの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	顔立ちからのメイク方法 ・アイラインの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ
【成績評価基準】				23	顔立ちからのメイク方法 ・チークの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	顔立ちからのメイク方法 ・チークの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	顔立ちからのメイク方法 ・鼻筋	基礎メイクの方法を学ぶ
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	顔立ちからのメイク方法 ・鼻筋	基礎メイクの方法を学ぶ
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 目	基礎メイクの方法を学ぶ
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 目	基礎メイクの方法を学ぶ
				29	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 目	基礎メイクの方法を学ぶ
				30	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 鼻	基礎メイクの方法を学ぶ
				31	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 鼻	基礎メイクの方法を学ぶ
実務経験教員の経歴				32	顔立ちからのメイク方法 ・IMAGE MAKING	航空業界用のメイクとは
様々な企業への研修などを実施しており、プロのメイクアップアーティストである。ビジネスマナー用のメイクから、各航空会社へのメイクやヘアアップも担当 実務経験36年				33	顔立ちからのメイク方法 ・IMAGE MAKING	航空業界用のメイクとは
				34	顔立ちからのメイク方法 ・IMAGE MAKING	航空業界用のメイクとは